

## (7) 市営結婚相談所の設置

昭和16年3月15日の市会は、市営結婚相談所設置に関する議員の建議案を付議、満場一致で可決しました。その内容は、市直営の結婚相談所をすぐ開設し、人口増産の国策に順応すべく一層の努力を払われたい、ということでした。

同年9月26日の市会では「結婚相談所設置の件」「福岡市結婚相談所使用料條例制定の件」「福岡市結婚相談所規程制定の件」の3議案が付議、可決されました。これにより福岡市結婚相談所は、昭和16年10月に事務所を天神町の岩田屋百貨店内に置き、発足しました。

福岡市事務報告書によると、翌17年の成績は申込人数計381人に対して成立件数42件となり、この数字は翌18年の予算市会で論議となりました。同年3月18日の市会では「もっと勤労階級や困窮者の人々が相談にくるよう、方面委員（現在の民生委員）のような制度を設けてはどうか」、同年3月20日の市会では「結婚相談所の成績が上がらないのは相談員によるのではないか。社会の実情に明るい方面委員を地域的に分散して世話をすることが、相談所の本質でなければならぬと思う」との議員の発言がありました。

この後、結婚相談所は結婚奨励委員120人を隣組単位に委嘱し、年間平均250件の申込数が続きましたが、戦後、昭和22年3月を最後に閉鎖されました。

<福岡市議会史第3巻「昭和編（一）」第十六章 医療施設の整備と社会事業の  
発展 から>